

【一中】脱いだ上履きの様子をご覧ください

昨日（6/12）スポーツテストの結果入力のために、2年生が武道場に集合してタブレット端末からMEXCBTにアクセスし入力（時代が進めば、記録を取ったその場で入力になると思います。それも目の前かもしれません）していました。本校は通信状況が良くないので、一番つながりやすい武道場に集合して実施したところでした。その状況確認をした後、武道場を出ようとしたときに、きれいに並んだ上履きに気づきました。

長野県の円福寺の住職、藤本幸邦さんは、終戦直後から多くの子どもを預かり、家族のようにして育てられる中で、玄関の靴が乱れているのを見て下記の詩を作り、子どもたち諭されたと言われています。

はきものをそろえると 心もそろう

心がそろうと はきものもそろう

ぬぐとときにそろえておくと はくときに心がみだれない

だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげましょう

そうすればきっと 世界中の人の心もそろうでしょう

このように自分自身もありたいと思います。自分のはきものもですが、「誰かが乱して置いたら、黙って揃えてあげましょう」が出来るように自分を磨かねばと思っています。ですが、これが中々むずかしいです。自分の弱さを実感します。自分が出来ないことを生徒に求めてもと思いますが、自分も生徒と一緒に頑張ろうと…。

